

伊藤 清 氏

統計局勤務の際に発表した確率微分方程式を始めとする確率解析の業績は、現代金融工学の先駆けとなったブラック・ショールズ方程式(1973年)の基礎となるなど、数学に留まらず工学、生物学、経済学及びファイナンス理論など広範な分野の進歩に大きく貢献した。

2006年8月22日に開催されたマドリッド国際数学会議において、社会に貢献した卓越した数学理論に対し新設されたガウス賞(IMU Carl Friedrich Gauss Prize)を受賞。



略 歴

年月日	(自) ~ (至)	事 項
大正 4年	(1915)	三重県北勢町に生まれる (9月7日)
昭和13年	(1938)	東京帝国大学理学部数学科卒業
13年	(1938) ~ 14年	大蔵省銀行局に勤務
14年	(1939) ~ 18年	内閣統計局に統計官として勤務
18年	(1943) ~ 27年	名古屋帝国大学理学部 助教授
20年	(1945)	博士号取得 (東京帝国大学)
27年	(1952) ~ 54年	京都大学 教授
29年	(1954) ~ 31年	米国プリンストン高等研究所 研究員
36年	(1961) ~ 39年	米国スタンフォード大学 教授
41年	(1966) ~ 44年	デンマーク国オーフス大学 教授
44年	(1969) ~ 50年	米国コーネル大学 教授
51年	(1976) ~ 54年	京都大学数理解析研究所 所長
52年	(1977)	朝日賞 受賞
53年	(1978)	日本学士院賞恩賜賞 受賞
54年	(1979) ~ 60年	学習院大学 教授
54年	(1979) ~	京都大学 名誉教授
60年	(1985)	第26回藤原賞 受賞
62年	(1987)	ウルフ賞数学部門 (イスラエルのウルフ財団) 受賞 勲二等瑞宝章 受章
平成 3年	(1991) ~	日本学士院会員
15年	(2003)	文化功労者
18年	(2006)	第1回ガウス賞 受賞
20年	(2008)	文化勲章 受章 死去 (11月10日 93歳)

※ 京都大学資料より引用 (顔写真はウィキペディアより)